



バンコク便り



1. はじめに

タイのプミポン前国王が死去されてから1年となった10月13日、首都バンコクでは様々な追悼行事が開催され、タイ国民が敬愛する前国王の死を悼みました。10月25日～29日に葬儀が行われ、火葬は26日に行われます。葬儀が近づき、黒い服を着た人が多くなっているバンコクより、葬儀前の現地場情報を号外としてお伝えします。

2 プミポン前国王葬儀関連情報

バンコクではプミポン前国王の葬儀が近づくにつれ、葬儀関連情報、交通機関の無料化、商業施設の営業時間等に関する情報が発表されています。タイ観光庁によると、葬儀期間中はタイ人の多くは黒い衣類を着用するため、強制ではないものの、外国人旅行者も適切な衣類を着用することが望ましいと発表しています。またタイ政府からは10月中は娯楽施設、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌に対し娯楽色を薄める協力を求めており、百貨店のディスプレイは黒を基調としていたり、雑誌の表紙も白黒のみといった対応が取られています。

交通機関の情報としては観光客がよく利用する高架電車BTSは26日が全線無料（25日と27日は一部区間のみ無料）、地下鉄MRTは26日のみが無料、スワンナプーム国際空港とバンコクを結ぶエアポートレイルリンクは25日～27日まで無料となります。

商業施設では火葬が行われる26日に、休業や営業時間の短縮などが発表されています。タイ大手商業施設グループでは一部店舗の営業時間を午後3時までと短縮しますが、バンコク中心部にある「エンポリアム」、「エムクオーティエ」、「サイアム・パラゴン」「セントラル・ワールド」などの店舗は観光客への配慮から通常通り営業されます。コンビニではセブンイレブンが午後2時から、ファミリーマートが午後3時から27日午前0時まで全店休業します。飲食店に関しても26日は大半が休業するとの情報がありますが、火葬翌日の27日には通常通り再開すると言われております。

日本でも今回の葬儀について報道されていますが、店舗の休業等は一時的であり、観光客が多い商業施設は通常通り営業予定であることから、当地ではしばらく経済活動が停止するといった印象はありません。街全体も葬儀が近づくにつれ静かになっていくこともなく、ほぼいつもと変わらない状況です。葬儀後は当地で感じる様子をご再度皆さまにお伝えします。



ほぼいつも通りの街の様子



黒を基調としたディスプレイ

【本件に関する連絡先】

海外業務部 石井、榎 023-626-9050

バンコク駐在 (カシコン銀行ジャパンチームトレーニー) 齋藤 +66-(0)6-3206-2823